

## 農作物の生育状況（4月20日現在）

中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室

### 1 水稲

- ・は種は4月6日頃から始まり、その後も作業は順調に推移している。管内のは種始めは4月11日、最盛期は16日と平年並みとなっている。
- ・本田作業は、畦塗りはほぼ終了し、肥料散布が始まっている。

### 2 小麦

- ・管内全域の生育は早く、一部では幼穂形成期で平年より約20日早いことから、出穂期も早まると思われる。  
但し、経年調査地点の鬼檜宮農組合のほ場は、は種期の遅れから越冬前の生育量は極めて少ない状況から、越冬後（4/10調査）の茎数も平年比63%に留まっている。
- ・幼穂形成期はほぼ平年並みの4月15日となっており、積算気温からみた予想出穂期は平年比3日早い5月18日頃と見込まれる。

### 3 果樹

#### (1) りんご

- ・生育は平年よりやや進んでいる。展葉日は弘前市独弧のふじが平年より6日早い4月13日であった。その後はやや低温傾向で推移したため、開花には日数を要して3日早まる程度と見込まれる。
- ・剪定、枝片付け、施肥はほぼ終了し、「ふじの展葉1週間後頃」の薬剤散布は4月16日頃から行われている。



4.18 りんご巡回講座

#### (2) もも

- ・平川市新館のもも（川中島白桃）の催芽日は、3月29日で平年より9日早く、発芽日は4月9日で平年より10日、前年より4日早い。
- ・ももの「発芽前」の薬剤散布は、4月上旬に行われた。
- ・大玉生産に向けて、ももの摘蕾が一部の園地で行われている。

### 4 野菜

#### (1) 夏秋トマト、ミニトマト

- ・3月から好天日が多く、苗の生育が7程度早まっている。
- ・苗の生育が進んだことで、ほ場準備が間に合わず、一部ほ場では老化苗が定植されている。定植作業も5日程度早まり、早い作型では4月10日頃から定植が始まった。
- ・ほ場準備は順調に進み、主体の作型では、4月下旬から順次定植に入る見込みである。

#### (2) にんにく

- ・県生育観測ほの4月10日現在の生育は、消雪が3月4日と平年より20日程度早まったことから、生育が10日程度進んでいて、草丈、生葉数とも平年を上回っている。
- ・消雪が早かったことから、無マルチ栽培の1回目の追肥は平年より2週間程度早い3月20日頃に行われている。
- ・さび病の発生がみられているほ場では、平年より10日程度早く防除が行われている。